

令和8年度 学校経営計画書

石川県立小松工業高等学校

校長 矢部 篤雄

1 教育目標

- ① 工業の専門高校として、地域産業の発展に貢献できる有為な産業人を育成する。
- ② 誠実を尊び、規律を守り、豊かな心、たくましい体力と実践力を持った人材を育成する。
- ③ 自ら専門技術の錬磨を図り、科学的な探究心を持ち、創意工夫する人材を育成する。

2 中・長期的目標

(1) 学校の現状

- ① 時代のニーズに応えた工業の専門学科（機械システム、電気、建設、材料化学）を有し、実践的な工業技術や先端技術を身につけた地域産業を支えるスペシャリストを育成している。
- ② ものづくり人材の育成を主眼とした、「地域産業の発展に貢献できる有為な産業人の育成」を通して、地域から信頼される工業の専門高校であり続けている。
- ③ 個に応じた進路実現を念頭に置き、きめ細かな学習指導や生徒指導を行うとともに、多彩な学校行事や部活動、生徒会活動等を通し、自律性に富み、豊かな心、たくましい体力を身につけた生徒を育成している。

(2) 生徒に関する中・長期的目標

- ① 授業・実習を基盤とし、家庭学習や朝学習の習慣づけにより、基礎学力の定着を図る。
- ② 専門分野への興味・関心を高めるとともに、職場体験等を通して勤労観・職業観の育成を図る。
- ③ 基本的な生活習慣の確立や規範意識の醸成を図り、心身ともに充実した高校生活を送ることを目指す。
- ④ 学校行事、部活動、生徒会行事、防災に関する学習等を通して、互いに協力することの大切さや、自己の役割と責任について自覚させるとともにコミュニケーション力の育成に努める。

(3) 教職員、学校組織等の望ましい在り方

- ① 主任を中心に教職員が一体となった機動的な学校組織運営に努めるとともに、AI等の適切な活用による業務効率化に取り組み職場環境の向上に努める。
- ② GIGA校内研修や動画を含む授業公開により、教職員自らの授業力向上を図る。
- ③ 教育活動を様々な機会情報発信し、開かれた学校づくりに努める。

3 今年度の重点目標

- ① ものづくりによる実践的な技術・技能の習得やデュアルシステム等の体験的学習の一層の充実により、有為な産業人の育成と生徒の適性に応じた進路の実現を図る。
- ② 学校生活全般を通して、生徒の規範意識を高め、安全・安心な学校づくりを目指すとともに社会人として必要な人間力を備えた人材の育成を図る。
- ③ 地域貢献活動「こま工Factory」をはじめ、本校の魅力やものづくりの楽しさに関する情報発信の充実を図る。
- ④ 実践的な避難訓練や防災学習を通し、防災に関する意識や能力を高める。
- ⑤ 教職員自ら業務の平準化と見直し・改善を行い、心身のゆとりを確保し、教材研究や生徒と向き合う時間を創出することで、教育の質の向上を図る。